

VOGUE JAPAN

報道関係各位
プレスリリース

2011年5月13日
コンデナスト・パブリケーションズ・ジャパン

ナオミ・キャンベルとイタリア『VOGUE』による 東日本大震災支援チャリティイベントを開催。 ファッション・フォー・リリーフ ジャパン・アピール ～5月16日(月)カンヌ映画祭～

世界のトップモデルのナオミ・キャンベルと、イタリア『ヴォーグ』誌編集長のフランカ・ソツツァーニは、大地震と津波被害に見舞われた日本の被災地・被災者を支援するための慈善イベント、FASHION FOR RELIEF™ JAPAN APPEAL(ファッション・フォー・リリーフ ジャパン・アピール)を開催いたします。このイベントは、ファッション・フォー・リリーフの設立者であるナオミ・キャンベルの呼びかけにより実現するもので、2011年5月16日にフランスのカンヌ映画祭で行われます。

今回のイベントは、ファッションショーやオープニング・レセプション、またオークションなどが行われ、世界の第一線で活躍する多くのセレブやトップモデル、ファッションブランドが参加します。「Runway to Red Carpet」をテーマとしたショーには、世界一流のデザイナーやアーティストから賛同の支援を得ています。集まった義援金は、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)へ寄付され、救済活動や被災者の緊急支援に役立てていただきます。

ナオミ・キャンベルは、「日本の大震災がもたらした惨状には、本当に胸が張り裂ける思いです。日本の皆さんが直面している喪失感を察するには余りあるものがあり、そうした状況を理解しようとする事さえ困難なことです」とコメントしています。「私は、こうした時期に日本を支援するため、できる限りの方法で手助けになりたいという思いに駆られました。カンヌのファッション・フォー・リリーフで集められる義援金が、何よりも支援を必要としている方々の支えになることを望んでいます」

ファッション・フォー・リリーフはこれまで、ファッションを通じて世界中の災害や、子どもたちを対象とした支援を行ってきました。昨年はロンドン、ニューヨークの2都市でショーを開催。ケイト・モスをはじめ多くのスーパーモデル、女優、歌手、ブロガーまで、業界に関わる人々が集結し、ハイチ地震被災者に100万ポンドを上回る義援金を送りました。ファッション、アート、デザイン業界が一つになり、必要とされている義援金を集め、重要なメッセージを発信するファッション・フォー・リリーフは、一つのチャリティ・プラットフォームとして、支援活動を続けています。

■FASHION FOR RELIEF™とは

ファッション業界が団結し、苦難の中にある人々へ支援の手を差し伸べる手段として、2005年、ナオミ・キャンベルによって設立された。ニューヨークで開催された最初のファッションショーでは、ハリケーン・カトリーナ被災者支援のために100万ドルの義援金を集める。2007年、100万ポンド以上の義援金をロータリー洪水災害被災地支援基金に寄付、また2008年、ホワイトリボン・アライアンス(WRA)の活動を支援した。2010年には新たなプロジェクト「ネオン」を立ち上げ、モスクワの子どもたちを対象とした慈善活動を推進するとともに、若年層を対象とした芸術支援も行っている。これまでに集めた資金は総額450万ポンド以上にのぼる。

【VOGUE JAPAN】

1892年に米国で創刊し、現在18カ国で発行される、世界で最も影響力のあるファッション誌『VOGUE』の日本版として、1999年7月に創刊。世界のトップフォトグラファーとのコラボレーションによる美しいビジュアルが誌面を飾り、最新のファッションとビューティの情報から文化・社会的なトレンドまで、洗練された“ヴォーグの世界”を展開。時代に影響を与えた各界の女性たちを毎年年末に表彰する「Women of the Year」も好評。今年創刊12周年を迎える。

また、2000年に誕生したウェブサイトでは、世界のモード・ファッションを発信し、会話するメディアとして、ファッションistaへ向けてより多く、質の高い多様な情報を発信。2010年にスタートしたモード系コミュニティサイト「VOGUE.talk」や、Blogコンテンツなどを通してインタラクティブなコミュニケーションにも積極的に取り組んでいる。

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先は、次の通りです。

VOGUE JAPAN マーケティング部

担当：猪股 TEL: 03-5485-9328 FAX: 03-5766-3010